

工陵

小山高専だより



令和5年度オーストラリア語学研修



北寮/国際交流センター開所



前期球技大会



吹奏楽部 新歓コンサート

Vol.16

2023.6

目次

学校長挨拶

やりぬく力は知力と体力を凌駕する…………… 2

主事・専攻科長挨拶

「学校で学ぶことは勉強だけではない。

未来のために、一歩ずつ着実に。」…………… 3

将来に向けての準備をしっかりと…………… 3

寮生活における自由と規律…………… 3

高専・専攻科時代にしかできないこと …………… 3

学級担任等の紹介…………… 4

新生に贈る言葉…………… 5

新任教職員挨拶…………… 6

学生相談室からのお知らせ…………… 7

学生会ニュース…………… 8

学寮ニュース…………… 8

高専ロボコンとは? …………… 8

独立行政法人国立高等専門学校機構



小山工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Oyama College

<https://www.oyama-ct.ac.jp/> 旧小山高専だより通刊No.195

※従来の小山高専Quarterlyから工陵 - 小山高専だより - に変更しました。



やりぬく力は知力と体力を凌駕する

校長 堀 憲之

今年度の入学式において「技術者の育成には知識や技能だけでなく、課題に粘り強く取り組む力などを育てることも大切」とお話ししました（内容は本校HPに掲載されています）。粘り強さはやり抜く力にも通じますが、英国のジャーナリストであるマシュー・サイド氏の著書「失敗の科学」に、「やりぬく力は知力と体力を凌駕する」という趣旨の記述があります。根拠の一つが米国陸軍士官学校（ウエストポイント）の話です。そこでは学生の入学の決意の強さを調べるために、ひと月半ほど厳しい訓練期間を課しています。学生がその訓練に耐えられるかどうかを予測するために、体力なら腕立て伏せの回数、知力ならSAT（米国の大学受験統一試験）やGPA（単位数で重付けした学業成績）の点数など、その学生のあらゆる資質を数値化し、それを学生評価スコアと称しています。しかし知力と体力だけでは訓練に耐えられるかどうかを判断するには十分ではありませんでした。そこで5年間に渡ってあるアンケート調査を実施しました。「始めたことを最後までやり抜けるかどうか」という視点から作成した基本的な12項目の質問に対して、5段階で自己評価させるというものでした。その結果は科学的とされる学生評価スコアよりもはるかに高確率で誰が訓練に耐えられるかを見極めるのに有効だったそうです。

さて「失敗は成功のもと」という言葉があります。「成功するまで続ければ失敗ではない」というのもあります。どちらも、途中で諦めずに挑戦し続けることを応援していると思います。一回も躓かずに何かを終えることは世の中では珍しいかもしれません。やり抜こうとする意志は、たとえ途中で止まっても最後まで挑戦を諦めない姿勢であり、成功に至るかどうかとは別ものです。科学の発展は仮説の提案と修正の繰り返しです（科学における真実とは、それが正しくないことが証明されるまでの命です）。様々な工業製品も試行錯誤することにより、より良いものに仕上げて行きます。失敗なく成功するに越したことはないかもしれませんが、途中で躓いても恥でも不名誉なことでもありません。もし失敗してもそれはより賢くやり直すためのチャンスです。先日、日本企業が打ち上げた宇宙船に最終段階でトラブルが発生し、世界初の民間月面着陸が実現しなかったことは残念でしたが、多くの方が次回の成功に期待し、応援していると思います。

余談ですが、私はネットで公開されている、ある名講義シリーズを全部視聴しようと考えています（現在ほぼ中断している状況ですが）。皆さんがやり抜きたいと今思っていることは何ですか？

「学校で学ぶことは勉強だけではない。 未来のために、一歩ずつ着実に。」



校長補佐(教務主事)
飯島 道弘

教務主事の物質工学科の飯島です。よろしくお願いたします。学生みなさん、気持ちを新たに勉強に励んでください。授業には、遅刻、欠席しないように注意して臨み、自ら積極的に学び吸収する姿勢を身に付けてください。予習や復習を継続的に行うことでさらに理解が深まります。理解できない科目や成績が悪い科目は、現在の勉強方法が最適ではなく、基礎も理解していない可能性があります。個人で勉強方法も理解度も異なりますので、焦らずに地道に勉強に取り組み、自分に合う方法を学生時代に見つけていくことが重要です。このように何かを解決しようとして工夫し、努力し、周りにも相談し、自分の方法を探していく過程で、自己理解を深め、コミュニケーション能力も向上し、問題解決の経験を積み、自信に富んだ魅力的な人に成長していきます。

今の自分に満足せずに、前を向いて振り返りしながら常に改善し成長し続ける姿勢で、夢を持ち自身の未来を作り上げていきましょう。授業は、みなさんの成長のためのきっかけにしすぎません。夢の実現のために、在学中に、より多くのことにバランス感覚をもってチャレンジし、自身の能力を開花させていきましょう。

将来に向けての準備をしっかりと



校長補佐(学生主事)
武 成 祥

学生の皆さん、高専生活をエンジョイしていますか？高専では単位を取るだけでなく、人との出会いや経験を通じて自分を成長させ、将来につながるスキルを身に付けることは非常に大切です。部活、各種大会、イベントや工陵祭などの課外活動に積極的に参加しましょう。これらの活動を通じて、新しい友達や仲間を作り、社会人として必要となるコミュニケーション力や協調性を身に付けることができます。

今年はみなさんに“PR”Cたいと思います。PはPerseverance、忍耐や根性という意味です。RはResilience、打たれ強さ、跳ね返す強さを意味します。この2つのことを実行できれば、“美味C”(Confidence、Career、Communication)結果につながります。学生生活はあっという間に過ぎ去ってしまいます。自分自身が納得できるよう、学生生活を満喫しながら、将来に向けての準備をしっかりとしてください。

寮生活における自由と規律



校長補佐(寮務主事)
鹿野 文久

新年度を迎え、新型コロナウイルス感染対策の制限も解除になり、元気な挨拶の声が寮にも戻ってきました。寮生活では、友達との付き合いや時間の使い方といった、基本的には自分自身で行動を決めて生活するといった自由があります。一方、食事や点呼時間、入浴といった決められた生活時間に沿った団体生活の規律が寮にはあります。さらに共有スペースや共同設備の使用方法や挨拶や役割分担といったルールもあり、共同生活をおこなうためには、これら規律やルールを守らなくては寮生として失格となります。共同生活をする中では、自由がありすぎると秩序が乱れ、規律が厳しすぎると寮生活に息苦しさを感じるようになるかもしれません。自由な生活を楽しみながらも共同生活のルールを守る、寮生活を充実させるためにはこの「自由」と「規律」といった2つのバランスが大切です。寮生活を通してこの自由と規律の意味と大切さを学んでほしいと思います。

高専・専攻科時代にしかできないこと



校長補佐(専攻科長)
鈴木 真ノ介

現在、専攻科では国際交流センターと連携して、専攻科生の国際交流活動の強化を図っています。具体的に言いますと、短期留学先の拡大と、本校学生の海外派遣数および提携校留学生受入数の増加です。本校から提携校への派遣は、2週間から6カ月と幅広いプログラムを用意しており、そのほとんどが奨学金の給付を受けることができます。大学3・4年生に相当する専攻科では、大学と一線を画す教育活動の一つとして短期留学制度の充実化を掲げています。留学というと、“英語ができなきゃ!”と思うかもしれませんが、まずは海外に滞在し、その国の生活環境や文化に触れ、各々が“何か”を感じる事が重要です。留学を通して今の自分に不足していること、意外とできること・海外でも通じることを認識できます。それを受けて自己改革に繋がれば良いと私は考えます。専攻科生に限らず、本校学生の皆さんにはこの制度を積極活用して頂きたいです。

なお、留学にこだわる必要もないと思います。各々が本校在籍中にしか取り組めないことを見つけ、それに没頭することができれば、かけがえのない成果が得られるでしょう。是非ともそのような高専・専攻科時代を送れるよう、心掛けて下さい。

学級担任等の紹介

専攻科



機械工学コース主任
日下田 淳
機械工学科

機械工学科



電気電子創造工学コース主任
小林 康浩
電気電子創造工学科

電気電子創造工学科 (L) 電気電子創造工学科(R)



物質工学コース主任
酒井 洋
物質工学科

物質工学科



建築学コース主任
加藤 浩司
建築学科

建築学科

5年



川村 壮司
機械工学科



サム アンラホック
電気電子創造工学科



山田 靖幸
電気電子創造工学科



加島 敬太
物質工学科



安高 尚毅
建築学科

4年



飯塚 俊明
機械工学科



飯島 洋祐
電気電子創造工学科



笠原 雅人
電気電子創造工学科



田中 孝国
物質工学科



崔 熙元
建築学科

3年



今泉 文伸
機械工学科



長尾 和樹
電気電子創造工学科



北野 達也
電気電子創造工学科



西井 圭
物質工学科



文野 光
建築学科

2年



有坂 顕二
一般科



神代 真也
一般科



関根 健雄
一般科



中川 英則
一般科



有坂 夏菜子
一般科

1年



増山 知也
一般科



杉山 桂子
一般科



長峰 博之
一般科



上野 哲
一般科



ハー ザイ
一般科

新入生に贈る言葉



機械工学科1年担任
増山 知也

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。入学式からはや一カ月余りが経って緊張も取れ、クラスでの討論なども活発になっているようです。今後は球技大会、中間試験そして定期試験へと行事も続きますが、積極的に取り組んでもらえたらと思います。さて、高専生活を送るにあたって、二つほどお勧めがあります。一つはメリハリをつけましょう、ということ。がむしゃらに勉強するとき、思い切り運動するとき、黙々と工作するとき、心の底から笑うとき、ひとりで泣きたいとき、ぼーっとするとき、しっかり眠るとき…切り替えがうまくできるといいですね。もう一つは本を読むこと。難しい本でなくて良いのです。ライトノベル、ミステリー、ファンタジー…心に安らぎを与え、知的好奇心を満たす時間を本から摂ってみてはいかがでしょうか。これからの5年間の充実したものとなり、そして、クラス仲間の友情が一生継続くよう願っています。



電気電子創造工学科(L)
1年担任
杉山 桂子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。高専での勉強はどうですか？専門科目は当然、難しいと思いますが、一般科目はどうですか？どの科目もその分野を極めた先生方が教える内容ですから、皆さんの想像よりも難しいと思います。実は、高専で順調に進級していくためには、一部の科目に偏らず、すべての科目にベストを尽くして合格していく必要があります。是非、苦手と思う科目も投げ出さずに、授業時間以外の自主学習時間を設けてください。日頃からどの科目も粘り強く取り組み、テストや課題提出などを着実にこなしていけば、すべての科目に合格できると思います。クラスメートと励まし合いながら乗り越えていきましょう。皆さんが、先輩達と同様、胸を張って高専から羽ばたいていけるよう、精一杯サポートしていきます。どうぞよろしくお願いたします。



電気電子創造工学科(R)
1年担任
長峰 博之

جوینده یابنده باشد (jūyande yābande bāshad)

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。君たちに11世紀のイランの旅行家、ナーセル・ホスローの言葉を贈りたい。ペルシア語で、意味は「求める人は得る人になるだろう」、つまり「求めよ、さらば得られん」。君たちはいま、あふれんばかりの夢や希望を胸にここに思う。その気持ちを大切にしてほしい。高専という空間は本当に自由で魅力的な場所だ。やろうと思えば何でもできる（限界はあるかもしれないけど）。しかも、深く深く自分の好きなものを探求することができる。その反面、高専という空間は恐ろしいところでもある。手抜きをしてなんとなく時間を過ごすこともできてしまうからだ。つまり、これからの高専生活がどうか、本当に君たちしだいだ。君たちがこの5年間で何を不得ていくのか、想像するだけでこちらもワクワクしてしまう。何かを「得る」ことの出発点は「求める」ことだと思う。あれをやってみたい、これを頑張りたい、ああなりたい、これを極めたい…そうした気持ちがすべての原動力だと思う。なので新入生諸君、**جوینده** (jūyande、「求める人」) となれ。そして **یابنده** (yābande、「得る人」) となれ。素敵な高専生活を。



物質工学科1年担任
上野 哲

先日、都内で地下鉄に乗っていた時に男性が倒れました。突然の出来事でしたが周囲の乗客はすぐに行動を始めました。「お医者さんはいませんか」と声をかける女子高生、偶然乗っていた看護師、看護師による処置の手助けを申し出る男子高校生。私は車内のSOSボタンを使って車掌に救急搬送の依頼をしました。事が起こってから次の停車駅で救急隊に引き渡す手はずを整えるまでに要した時間は、わずか5分！見知らぬ者同士が善意だけでつながって、即席の救急チームとして機能したのです。私は人間の本性は「善」だと考えていて、このような体験をするとその思いはますます強くなります。ただ、実際には世の中に「悪人」もいるので、誰をも信じるのは賭けかもしれません。が、少なくとも私は人間の本性は「善」だと信じて、皆さんに接していくつもりです。



建築学科1年担任
ハー ザイ

皆さん、こんにちは。サイです。ご入学おめでとうございます。私は小山高専で約3年間働いていますが、まだまだ新人のような気持ちです。高専の主な教育は技術ですが、自然について忘れないでください。技術は私たちの生活を改善するためのものですが、それが私たちの自然を破壊し、生活を悪化させてしまったら、それは本当に技術と言えるでしょうか？技術について学ぶときは、常にこのことを考えてください。私は自然と人間との関係に深く興味を持っています。例えば、なぜ人々の中には他の人よりも環境に大切にしているのでしょうか？このような話すのが好きです。個人的には、ランニングや自転車、山登りなどのアウトドア活動が好きです。もしそのようなことが好きなら、ぜひ私に話しかけてください。どうぞよろしくお願いたします。

新任教職員挨拶



電気電子創造工学科
大内 翔平

本年度より電気電子創造工学科に着任いたしました大内です。2016年に小山高専の当時の電子制御工学科を卒業してから、大学に進学して博士課程まで在籍し、7年ぶりに教員として母校に帰ってきました。私が大学に在籍している間に、小山高専は大きく変化していたようで、久々に帰ってきた母校は、初めて聞く名前の教室や科目など、馴染みの無いものがたくさんありました。授業や研究室での学生の皆さんの活動を見て、ようやく懐かしさを感じ、帰ってきたことを実感しています。

高専は大学と高校の両方のメリットを併せ持ったような場所であり、高い専門知識・技術を習得でき、高度な研究に携わることもできます。学生の皆さんが、自らがやりたいことに進んで挑戦して、「高専に来て良かった！」と思えるように、教員としてサポートしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



一般科
岡崎 勝男

こんにちは！4月から一般科数学教員として着任した岡崎勝男（おかざきまさお）と申します。専門は整数論であり、普段は $\sqrt{2}$ みたいな数字と戯れています。「整数って言ったのにルートじゃん！」って思われた方、ぜひ数学をしに僕の部屋に遊びに来てください。それ以外にも何か数学に関して相談したい事があれば、何でもお気軽に話しかけてください。

趣味は運動、ゲーム、アニメ等で、運動については「パワーと身軽さの両立」をテーマに、日々、トレーニングに励んでいます。

新任の未熟者ではありますが、皆さんの学校生活が楽しく充実したものになるように精一杯サポートしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします！



一般科
佐藤 悠樹

4月に一般科（保健体育）に着任しました佐藤悠樹です。保健体育の中でも珍しく卓球を専門としています。「卓球をやりたい」「温泉卓球で活躍したい」という高専生はぜひ気軽に声をかけてみてください。学校生活でのたわいもない話もどしどしお待ちしております！趣味は、スポーツ観戦、キャンプ、カフェ巡りで。もっと色々なことに挑戦したいと思っています。

5年間の高専生活、加えてその先で健康で豊かな人生を歩んでいけるよう、保健体育や課外活動を通して身体を動かす楽しさを味わってください。そして、まだまだ未熟な私と一緒に成長していきましょう！今度ともよろしくお願いいたします。そのためのサポートを授業やクラブ活動を通じてしていきたいと思っております。



一般科
平野 進一

4月より一般科物理の教員として着任しました平野進一です。立教大学大学院を修了し、3年間大学を移りながら博士研究員をして、小山高専に着任となりました。

研究分野は、宇宙論・重力理論です。子供時代に誰もが思い描いた「宇宙って何だろう？」、「ブラックホールって何かカッコいい！」という気持ちを追求し続け、そのまま研究者となった形です。

高専という場所は、いわゆる受験勉強としての勉強に縛られることなく、自由に勉強したりできる場所だと思います。

ぜひ学生の皆さんにも自分にとって面白いと思ったことや興味を持ったものを押しとどめることなく、伸ばして行ってほしいなと思います。そのためのサポートを授業やクラブ活動を通じてしていきたいと思っております。

学生相談室からのお知らせ

学生の皆さんは、楽しいことも沢山あるけど悩む時もあるかと思います。そんな時、少しでもお手伝いできればと思っています。誰かに聴いてもらうと解決の糸口が見つかることもあります。どうぞ気軽に学生相談室を利用してください。

学生相談室長 加藤 清考



カウンセラー紹介

スクールカウンセラー
田口 明子

みなさんこんにちは。今年も一年間、どうぞよろしくお願いたします。

スクールカウンセラーの役割は、みなさんのお話を聞かせていただくことです。私たちは毎日、いろいろなことを思い、感じ、行動しながら生活していますが、何か変だなと感じたり、上手くいっていないような状態が続くと、考えすぎたり、気にしすぎたり、行動できなくなったりして、出口が見えなくなってしまうことがよくあります。そのような時はちょっと立ち止まって自分のことを振り返ってみるとよいのですが、これを一人で続けていると、堂々巡りをしてして、さらに深みにはまってしまうこともありますよね。そんなとき、スクールカウンセラーは皆さんの話を聞き、一緒に考えるお手伝いをさせてもらいます。話してみようかなと思ったら、ぜひお越しください。上手く話せなくても大丈夫です。



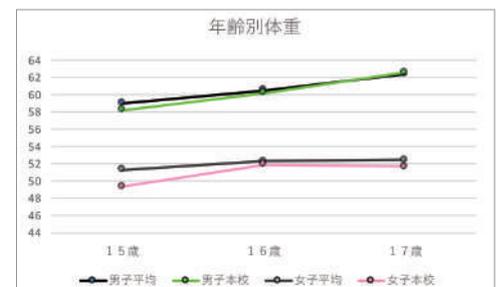
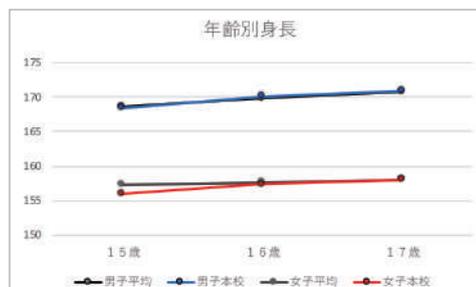
令和5年度 学生相談室員

室長	加藤 清考 (一般科)
副室長	森下 佳代子 (一般科)
室員	今泉 文伸 (機械工学科)
室員	小林 康浩 (電気電子創造工学科)
室員	床井 良徳 (電気電子創造工学科)
室員	高屋 朋彰 (物質工学科)
室員	大島 隆一 (建築学科)
室員	山崎 明 (一般科)
室員	廣田 智子 (保健室)

保健室より

4月に実施しました健康診断の結果が出ております。身長・体重の全国平均と大差はないが、1年生女子の身長と、1年生男女、3年生女子の体重がやや少なめに出ています(下図参照)。

また、再検査が必要な学生には、医療機関受診の受診案内文が入っておりますので、早めの受診をよろしくお願いたします。



身長	15歳	16歳	17歳
男子平均	168.6	169.8	170.8
男子本校	168.4	170.1	170.9
女子平均	157.3	157.7	158.0
女子本校	156.0	157.4	158.0

体重	15歳	16歳	17歳
男子平均	59.0	60.5	62.4
男子本校	58.2	60.2	62.6
女子平均	51.3	52.3	52.5
女子本校	49.4	51.9	51.7

学生会 ニュース

機械工学科3年 大野 稟太郎

皆様こんにちは。学生会執行部広報局です。最近暑い日が続いており、夏の近づきを感じる時期になりました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の分類が5類となり、感染状況が落ち着いていっていることがうかがえます。先月行われた球技大会では、体育委員会の尽力、そして学生の皆様のご協力により、白熱した試合を見ることができました。ありがとうございます。学生の皆様、後期球技大会も頑張りましょう。これからも少しずつ、コロナ以前の生活に戻っていくことを願っています。昨年度も規模が縮小された状態で行われた工陵祭ですが、今年はどうのように開催されるのでしょうか。クラス、部活、個人でどのような企画が行われるのか、とても楽しみです。今年度も学生会執行部は精進してまいりますので、体調に気を付けつつ、感染対策・熱中症対策に努め、よりよい高専ライフを目指していきましょう。

学寮 ニュース

令和5年度前期寮長
機械工学科4年 谷中 柊太

今年度の前期寮長を務めております、4年機械工学科の谷中です。新型コロナウイルスの規制も緩和される中、今年度も新一年生たちが4月に入寮してきました。初めは寮生活に慣れない様子を見せていた彼らでしたが、先日行った新入寮生歓迎会ではたくさんの先輩の前で堂々と自己紹介をしている姿がありました。また、歓迎会の後に行われたドッチボール大会では寮生の生き生きとした姿が見られて、とても嬉しい限りです。

今年度は新型コロナウイルスの制限の緩和がされているので、徐々に従来の寮生活に戻し、また、新型コロナウイルスの規制によって行えなかった寮祭などのイベントを復活させたいです。規制のない従来のにぎやかで楽しく生活できる寮にできるようこれからも尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。



寮生ボランティア

高専 ロボコン とは？



小山高専 ロボコンプロジェクトチーム

「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト」では、毎年異なる競技課題に対し、全国の高専学生がアイデアを駆使してロボットを製作します。

本校では「ロボコンプロジェクト」としてプロジェクトメンバーが一丸となり、関東甲信越地区大会（10月頃）、全国大会（11月頃）を目指して努力と創意工夫を積み重ねます。競技に勝てるロボット、生き生きとしたロボット、アイデア実現を突き詰めたロボット、どんなロボットを目指すかは様々です。

過去2020、2021年には、全国大会優勝で二連覇、さらに2012、2021年には大会で最も栄誉な賞である「ロボコン大賞」を受賞しました。

ロボットを通したものづくりに興味のある方、本校ロボコンプロジェクトへの挑戦をお待ちしています！



SUPERザウルス君 (2008年製作)

ロボコン初の二足歩行ロボットです。特徴はリアルな恐竜の外装とおしゃべり機能が搭載されています。



シンクロシスターズ♪ (2020年製作、超優秀賞(全国優勝))

6台のロボットがシンクロナイズドスイミングのパフォーマンスを表現します。床面を水面と見立て、頭および脚ロボットのユニークな形状と動きに強烈な印象があります。

合言葉は
発想力と独創力!!

独立行政法人 国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜771 TEL.0285-20-2100
編集：小山高専広報戦略室 発行：2023. 6